

ベラルーシ公開情報取りまとめ

(5月30日～6月5日)

2022年8月11日

在ベラルーシ大使館

【主な出来事】

●ルカシェンコ大統領とグテーレス国連事務総長の電話会談(6/3)

●欧州連合(EU)が第6次対露・対ベラルーシ制裁を発表(6/3)

【ルカシェンコ大統領動静】

●グテーレス国連事務総長との電話会談

(1)ルカシェンコ大統領の提案は、要旨以下のとおり
・ウクライナの穀物を、ベラルーシ経由でバルト海の港湾から積み出すこと。

・その引き換えに、ベラルーシの商品への禁輸を緩和し、バルト海の港湾から積み出せるようにすること。

(2)グテーレス国連事務総長は、関係各所との調整のため時間が必要である旨返答したとされる。

(6月3日 大統領府)

【外交】

●アレイニク外務第一次官とホーネッガー＝ゾロトゥヒン駐ベラルーシ・スイス大使の会談

・二国間関係の現状、地域・国際レベルでの当面の問題につき協議

(6月3日 外務省)

●マケイ外務大臣とチャヴシュオール・トルコ外務大臣の電話会談(6月3日)

・二国間関係の当面の問題を中心に協議。

・ウクライナを含む地域情勢を協議。政治的・外交的手段による一刻も早い紛争の平和的な解決が重要であることで一致。

(6月4日 外務省)

●欧州連合(EU)が第6次対露・対ベラルーシ制裁を発表

・対象となった自然人12人は、カルペンコ中央選挙管理委員長の他、判事、検察官、またルカシェンコ大統領と親密な関係にあると見られるセルビアの実業家ボゴリユブ・カリッチ氏やゴロバティ「ベラルーシ・カリ」

社長ら企業関係者、アザリヨノク国営「首都テレビ(STV)」司会者等の国営メディアの著名人等。

・対象となった8法人は、「ベラルーシ・カリ」、「ベラルーシ・カリウム公社(BKK)」、石油精製工場「ナフタン」、「インテル・タバコ」、「グロドノたばこ工場『ニョーマン』」、「ベルタモジセルヴィス(物流、通関関連業務等に携わる国営企業)」、「ベルコムンマシ(路面電車・トロリーバス等のメーカー)」、「ベラルーシ・テレビ・ラジオ公社(ベルテレラジオコンパニア)」。

・対象者はEUへの入域が禁止されるとともに、EU域内の資産が凍結される他、対象者への資産の引き渡しが禁止される。

(6月3日 欧州評議会、BPN、Zerkalo)

【内政】

●人権団体「ヴァスナ(春)」による人権状況に関する発表

・5月全体を通じ、抗議行動への関与を理由に、少なくとも96人が処罰された。

(6月2日 BPN)

●出版業界の現状に関する「ベラルーシ PEN」による報告

「ベラルーシ PEN」は、当局によって閉鎖された「ベラルーシ PEN センター」の後継団体で、現在はベラルーシ国外で活動中。報告の概要は以下のとおり。

・出版社、著者、書店に対する圧力に関し、複数の公開されていない要素あり。

・ベラルーシでの民間出版は、国家からの支援がなく、税金が高い等の理由で、小売価格が高くなってしまっている。

・ロシアの出版社の書籍が広く出回っているため、ベ

ラルーシ独自の出版が難しい。全般的な状況は、誇張なしにロシアによる文化的な占領、ベラルーシ文化の駆逐を伴う「ロシアの世界(ルースキー・ミール)」の推進と言える。

・作家・出版社・書籍取り扱い関係者・文芸批評家等が絶えず弾圧されている。体制に忠実でない作家は、読者との交流や国営書店での自著の取り扱いの可能性がなく、国営メディアで取り上げられるとしても、プロパガンダや誹謗中傷の文脈においてのみ取り上げられる。

(5月31日 BPN)

【治安・軍事】

●国防省は、即応軍の第3次点検の実施を発表

・ブレスト州ピンスク付近において、空挺部隊による都市部での訓練、ピン川渡河訓練等を実施。

(6月1日、4日 国防省)

【経済】

●ベラルーシ製 19 インチのタイヤの登場

・国営タイヤメーカー「ベルシナ」(モギリョフ州ボブリスク)は、19 インチの乗用車用タイヤを発表。

・従来、19 インチのタイヤは専ら輸入されており、市場での売価が高騰しがちであった。

・本年秋までには本格的に発売開始予定。

(5月31日 国営「全国テレビ」、Zerkalo)

●リトアニア企業「VMG Group」は、ベラルーシでの活動停止を発表

・3 月初旬のモギリョフ州の工場の操業停止に続き、ヴィテプスク州での工場建設停止を決定。

・ヴィテプスク州の工場は、2018 年にスウェーデン企業「イケア」と合併で設立された同社の系列企業「VMG WoodArt」が建設を進めていたもの。投資総額は 8,000 万ドル、600 人を雇用する計画だった。

・「VMG Group」のモギリョフ州での事業には、欧州復興開発銀行(EBRD)が 5,000 万ユーロの融資を提供し、200 人の新たに雇用し、モギリョフ州拠点全体で 1,700 人の雇用となる見込みだった。

(6月1日 BPN)

●ロシアによるウクライナ侵略を受けたベラルーシ・ロシア両国からの企業の撤退の発表

・6月1日、デンマークの計器メーカー「Kamstrup」

・6月1日、米「ヒューレット・パッカード」

・6月2日、キプロスに拠点を置くスポーツベッティング(スポーツを対象にした賭け事)の企業「Parimatch」

(6月2日 BPN)

【抗議勢力の動き】

●チハノフスカヤ民主勢力代表は「欧州人民党(EPP)」大会に出席(於: 蘭ロッテルダム)

チハノフスカヤ氏は要旨以下を述べた。

・在外ベラルーシ人は民族的なレッテルによる差別に直面している。ベラルーシ人に対する無査証制度の導入とともに、ルカシェンコ体制支持者に対する制裁導入を呼びかける。

・欧州連合(EU)とベラルーシの民主勢力の間の協力、ルカシェンコ退陣後のベラルーシが迅速に改革を実施できるよう、かつての欧州復興時のマーシャル・プランと同様の支援を呼びかける。

(6月1日 チハノフスカヤ氏 Twitter)

【その他】

●5月21日、国連恣意的拘禁作業部会(WGAD)は、政治犯マクシム・ズナク氏(ババリコ元大統領候補の陣営の弁護士)に対する自由剥奪刑が適法でないと認定。同氏の釈放を要求。

(5月30日 BPN)

(了)